



※この画像は 2008 年 10 月 発表時のものです。

エヴァンゲリオン 新劇場版：破

EVANGELION:2.0

YOU CAN (NOT) ADVANCE.

2009 年 6 月 27 日

シネマスクエアとうきゅう他にて全国公開！

●真の姿が現れる、新 EVA 伝説第 2 ステージ

新たな未来を新たなビジョンで語る、映画『エヴァンゲリオン新劇場版』全 4 部作（公開は全 3 回を予定）。2007 年 9 月に公開された第 1 部「序」は、大きな拍手をもって迎え入れられた。リビルド（再構築）という手法で大きくスケールアップされた映像は、観客の心を大きく揺り動かしたのである。

その感動をふまえ、次のステップを目ざして第 2 部「破」が始動する。汎用ヒト型決戦兵器エヴァンゲリオンに乗ることで、自ら戦うことを選んだ碇シンジ。大きな運命を託された 14 歳の少年の物語は、ここから未知の領域へ突入する。

綾波レイと人気を二分するヒロイン、アスカがエヴァンゲリオン 2 号機に乗って参戦。加えて魅惑の新ヒロインが登場する。謎の生命体“使徒”と EVA シリーズの戦いは新エヴァンゲリオンの参加で、さらに激しくエスカレートしていく。

スクリーンに続々と展開する、誰も見たことのないバトルシーン。驚異のスペクタクルの興奮は、未知の物語へとつながっていく。

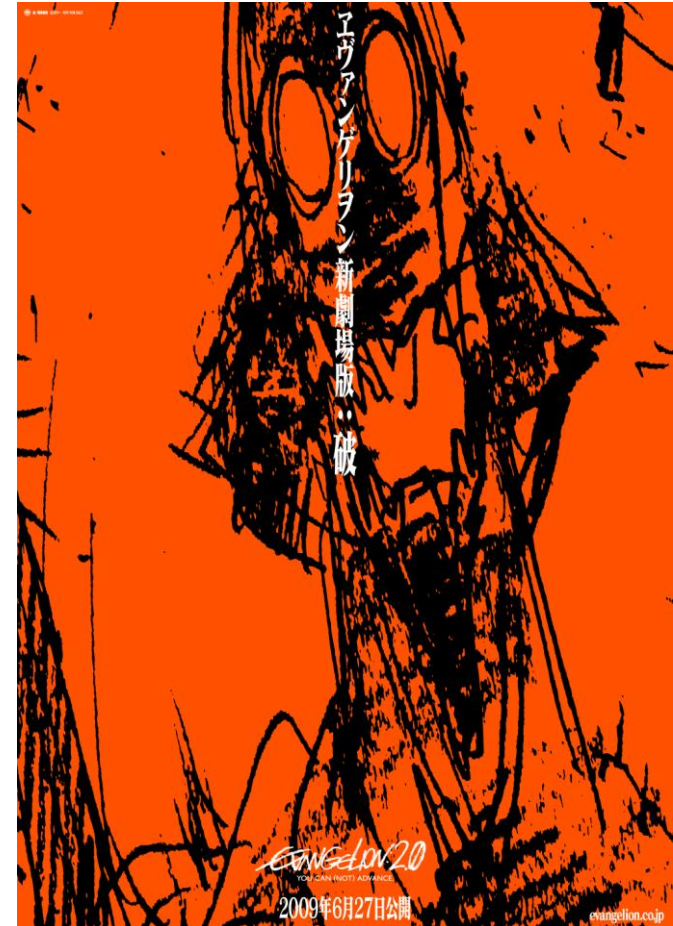
あえて TV シリーズと同じ出発点からスタートしてみせた新 EVA 伝説。この第 2 ステージからは、大きくポイントが切りかわっていく。そこから見えてくる全 4 部作の真の姿とは、はたして何なのだろうか？



●完全新作が招来する映像体験の興奮

新キャラ・新エヴァなどの斬新な要素だけではなく、未知の展開に対応したデジタル時代のエヴァ映像も「破」の大きなみどころである。第1部「序」前半では過去の作品をベースに大胆なCG映像を加えてリビルドし、さらにクライマックスとなる「ヤシマ作戦」では過去と根底から異なる新作映像を提示して、大きな反響を得た。この成果をふまえて、第2部「破」では実証済みの「エヴァ独特のデジタル映像使用法」をより発展させるべく、大きく方針を変更。原画など既存素材の流用にこだわらず、完全新作をベースに制作が進められている。大量に描き起こされたデザインと設定。洗練されたCG技術も増量され、新たなイメージを具現化している。エヴァはビジュアル面でもさらに進化し、次の段階へ向かっている。

物語・映像の両面から、「序」で再構築されたはずのあらゆる事象は土台を失っていったん倒壊し、新劇場版は混沌の中から《未来》に向けて刷新されていく。それはまさにエヴァだけが可能とする行先不明の《ライブ感覚》。いま、大転換のための幕があがる。押し寄せる戦慄の感覚。それはまさに「破」なのである！



『エヴァンゲリオン新劇場版』について

『エヴァンゲリオン新劇場版:序』 2007年9月1日公開済

『エヴァンゲリオン新劇場版:破』 2009年6月27日公開

『エヴァンゲリオン新劇場版:急』+『エヴァンゲリオン新劇場版:？』公開日未定

『新世紀エヴァンゲリオン』（監督：庵野秀明）は未曾有の SF アニメ超大作。

巨大なヒト型決戦兵器に乗る少年少女と謎の“使徒”の戦いを通じ、人の心、人と人の関係、そして人の成り立ちの根幹にまで迫りぬいた、人類史上最大スケールの物語である。

驚くべきことに、新たな時代は次々に新しい『エヴァ』ファンを産み出している。

単なるアニメーションの枠を超え、多くの世代に感動をもたらす。

それはこのドラマに「人の心」を貫き、とらえ、つき動かす普遍的なパワーがあるからだ。

新時代の要求に応え、新たな観客のため新たな物語が用意された。

その名も『エヴァンゲリオン新劇場版』全4部作。

画面も物語も完全刷新。

デジタル時代にふさわしい最先端映像を得て超絶なスケールアップをはたし、大スクリーンに挑戦する！

エヴァンゲリオン 新劇場版：序

2007年9月1日に公開され、全4部作のうち、序章的な位置づけにあたる。本作のベースとなったのは、TVシリーズのうち第壹話から第六話まで。14歳のシンジ少年が汎用ヒト型決戦兵器・人造人間エヴァンゲリオンに乗って正体不明の敵性存在「使徒」と戦い始める契機と、自分の暮らし、友人、街など身近なものを認識する過程が、丁寧なタッチで再び語られ、1本の映画として再構成されている。クライマックスは、国家規模のオペレーションを描いた「ヤシマ作戦」。日本中の電力を箱根の一点に集め、シンジのEVA初号機が狙う陽電子砲の起動エネルギーとする大プロジェクトだ。自在に変形と攻撃を繰り返し、ネルフ本部へ侵入しようとする使徒。人類すべての運命が自分の双肩にかかったとき、シンジの心中に芽生えたものは…。

●『新劇場版：序』圧巻の成績!!

初日公開館数 85 館、興行収入 20 億円。

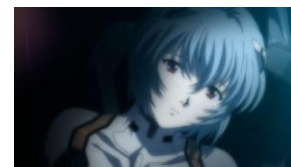
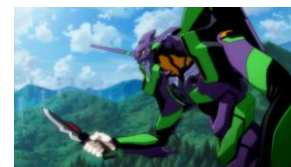
DVD セールス、合計 60 万枚を突破！

（初登場オリコン週間DVDランキング 1 位 （08/5/5 付）

Amazon.co.jp® 2008 年 DVD ストアランキング 1 位

《受賞》

- ・第 31 回 日本アカデミー賞 優秀アニメーション作品賞
- ・第 25 回ゴールデングロス賞・ゴールデングロス特別賞 ゴールデングロス話題賞
- ・東京国際アニメフェア 2008 第 7 回東京アニメアワード
- ・アニメーション オブ ザ イヤー ・ 個人賞部門・監督賞 庵野秀明
- ・第 22 回デジタルコンテンツグランプリ DCAj 会長賞
- ・第 13 回アニメーション神戸賞 作品賞・劇場部門



『エヴァンゲリオン新劇場版：破』

声ノ出演

碓シンジ/緒方恵美 綾波レイ/林原めぐみ
式波・アスカ・ラングレー/宮村優子 真希波・マリ・イラストリアス/坂本真綾
葛城ミサト/三石琴乃 赤木リツコ/山口由里子 加持リョウジ/山寺宏一
渚カヲル/石田彰 碓ゲンドウ/立木文彦 冬月コウゾウ/清川元夢
伊吹マヤ/長沢美樹 青葉シゲル/子安武人 日向マコト/優希比呂
鈴原トウジ/関智一 相田ケンスケ/岩永哲哉 洞木ヒカリ/岩男潤子
キール・ローレンツ/麦人

原作・脚本/庵野秀明

主・キャラクターデザイン/貞本義行 主・メカニックデザイン/山下いくと

作画監督/鈴木俊二、本田雄、松原秀典、奥田淳

特技監督/増尾昭一 副監督/中山勝一、小松田大全

美術監督/加藤浩（ととにゃん）、串田達也（美峰）

色彩設計/菊地和子（Wish）

CGI 監督/鬼塚大輔、小林浩康

撮影監督/福士享（T2 スタジオ）

編集/奥田浩史 音楽：鷺巣詩郎

監督/摩砂雪、鶴巻和哉

総監督/庵野秀明

制作/スタジオカラー 共同配給/クロックワークス、カラー 宣伝/カラー 製作/カラー

原作、脚本、総監督：庵野秀明 1960 年生まれ。山口県出身。映画監督。

高校時代からアマチュアフィルム活動を精力的に行う。「風の谷のナウシカ」等の商業作品にもアニメーターとして参加。

1984 年、大阪芸術大学在学中に出会った仲間と結成した自主映画集団「DAICON FILM」が母体となったガイナックスの設立に参加。

2006 年、新たな映像企画制作会社カラーを設立。現在「エヴァンゲリオン新劇場版」を制作中。

■アニメ■

「トップをねらえ！」（88 年ビデオアニメ・監督）

「ふしぎの海のナディア」（90 年TVアニメ・総監督）

「新世紀エヴァンゲリオン」（95 年TVアニメ・監督）

『新世紀エヴァンゲリオン劇場版』（97 年劇場アニメ・総監督）

「彼氏彼女の事情」（98 年TVアニメ・監督）

「空想の機械達の中の破壊の発明」（02 年ジブリ美術館上演短編アニメ・監督）

「Re：キューティーハニー」（04 年アニメ・総監督）

■実写■

『ラブ&ポップ』（98 年劇場映画・監督）

『式日』（00 年劇場映画・脚本／監督）

「流星課長」（02 年ショートビデオ・監督）

『キューティーハニー』（04 年劇場映画・監督）

監督：摩砂雪 1961 年生まれ、長野県出身。アニメーション監督・アニメーター。

数々のテレビアニメの作画で経験を積んだ後、1987 年公開の劇場アニメ『王立宇宙軍 オネアミスの翼』よりガイナックス作品に参加し、

「ふしぎの海のナディア」で演出と作画監督を担当。社会的ブームになった「新世紀エヴァンゲリオン」では鶴巻和哉と共に副監督に就任、数々の役職をこなした。

近年では庵野秀明の実写作品にも参加している。

主な代表作は、TV アニメ「さすがの猿飛」（原画）、「サイボット ロボッチ」（原画）、「らんぼう」（作画監督・原画）、『新世紀エヴァンゲリオン劇場版 DEATH』

（監督）、OVA「トップをねらえ 2！」（OP 演出・画コンテ・原画）等多数。実写作品では、劇場用映画『ラブ&ポップ』（友情准監督）、

ショートフィルム『流星課長』（演出補・画コンテ）、劇場用映画『キューティーハニー』（監督補）等。

監督：鶴巻和哉 1966 年生まれ、新潟県出身。アニメーション監督・アニメーター。

スタジオジヤイアーツを経て、90 年の「ふしぎの海のナディア」よりガイナックスへ参加。同作品のLD-BOX 映像特典「ナディアおまけ劇場」にて初

演出。94 年のLD-BOX「トップをねらえ！オカエリナサイBOX」収録の映像特典「トップをねらえ！新・科学講座」が初監督となる。

主な代表作は「新世紀エヴァンゲリオン」（副監督）、同劇場版『REBIRTH』（監督・演出）、同『Air』（監督・演出）、OVA「フリクリ」（原案・監督）、

OVA「トップをねらえ 2！」（原案・監督）等多数。

主・キャラクターデザイン：貞本義行 1962 年生まれ。山口県出身。アニメーター、キャラクターデザイナー、作画監督。

東京造形大学卒業後、アニメーターとなる。キャラクターデザイナー、作画監督として活躍。

主な代表作は、劇場アニメ『オネアミスの翼 王立宇宙軍』、OVA「トップをねらえ!」、TV アニメ「ふしぎの海のナディア」、TV アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」、同劇場版、OVA「フリクリ」、OVA「トップをねらえ2!」、劇場アニメ『時をかける少女』等。

95 年2 月号より月刊少年エース誌上にてコミック版「新世紀エヴァンゲリオン」を連載。

主・メカニックデザイン：山下いくと 1965 年生まれ。岐阜県出身。漫画家、デザイナー。

名古屋芸術大学出身。GAINAX 作品として「トップをねらえ!」「ふしぎの海のナディア」「新世紀エヴァンゲリオン」でメカニックデザインとして参加する。その他 OVA「青の6 号」、「戦闘妖精・雪風」に参加。コミックの代表作として「ダークウィスパー」などがある。

音楽：鷺巣詩郎 1957 年生まれ。東京都出身。作曲家、編曲家。

代表作にMISIA、平井堅、CHEMISTRY、SMAP、「新世紀エヴァンゲリオン」『CASSHERN』など、日本を代表する作曲・編曲者として、数々の代表作を世に送り出しているマルチ・アーティスト。

日本を代表するフュージョン・バンドであるT-SQUARE のメンバーとして78 年にデビュー、その後脱退しソロ活動を開始。以後、80 年代アイドル全盛時代に作曲・編曲者として活躍し、

小泉今日子、中森明菜、西城秀樹、田原俊彦、シブがき隊などの楽曲を手がける。同時にアニメやドラマ音楽、映画音楽なども手がけており、『あぶない刑事』『気まぐれオレンジロード』などが有名。「笑っていいとも」の「テレフォンショッキングのテーマ」などユニークな作品も手がける。その後、95 年のテレビアニメ「新世紀エヴァンゲリオン」の音楽を担当しクラシック・コンポーザーとしての実力を発揮。

そのサントラが爆発的ヒットを記録、社会現象と呼ばれた。また、MISIA やACO の作品にも参加、R&B 方面でもその手腕を発揮。

99 年に20 年にも及ぶ活動の歴史を集大成したソロ・アルバム「SHIRO 'S SONGBOOK」をリリース。クラシック、ゴスペル、R&B、HIP HOP を融合させたサウンドは高く評価され、以後彼のライフ・ワークとなっている。

04 年には映画『CASSHERN』の音楽を担当、重厚感漂う音世界が話題を集めた。